

■ 景観形成基準チェックシート(一般地域・全地区)

(対象：屋外における土石、廃棄物、再生資源その他の物件の堆積)

※周辺との調和への配慮がわかる図書を添付すること。

届出者の氏名						
行為の場所						
周辺景観の特性						
地域の景観形成の方向 (市町村景観形成方針等の有無)						
項目	規制の視点	景観形成基準	配慮事項	具体的な配慮又は工夫の内容	※適否	※意見
形状・緑化	調和	秩序ある物の堆積により、周辺の景観と調和するよう努めること。	整然とした集積、貯蔵方法となっているか。		適・否	
			集積等は、周辺の景観と調和するよう配慮しているか。		適・否	
	離れ (圧迫感)	道路等の公共空間に面する敷地境界から、できる限り離れた位置に物を堆積するよう努めること。	道路等から離して集積、貯蔵するよう配慮しているか。	□道路等からの離れ：	適・否	
遮へい	視線	行為の場所が道路等の公共空間から見えないよう、周辺と調和した樹木又は塀等による遮へいに努めること。	集積等の場所が、道路等から見えないように、植栽、塀等で遮へいしているか。		適・否	
			遮へいのための植栽は、周囲の植生に配慮しているか。		適・否	
			遮へいのための塀等は、周囲の景観と調和した素材となるよう配慮しているか。		適・否	
取組の中で特筆すべき点		(良好な景観形成のために特に取り組まれた事項がある場合は記入ください。)				

- 1) 記載に当たっては、項目欄の※印欄は記載不要です。
- 2) 項目欄の具体的な配慮又は工夫の内容について記載する場合、□印の内容については必ず記載して下さい。
- 3) 行為地において、市町村が景観の形成に関する基本方針等を定めている場合、その内容に適合するよう努める必要があります。